

まち∞未来ミーティング（溝口公民館） 意見記録

会 議 名	まち∞未来ミーティング（溝口公民館）		
開催日時	令和 8 年 9 月 2 日(水)	19 時～20 時 45 分	開催場所 溝口公民館
参 加 者	伯耆町	小澤町長、橋本教育長、岡本副町長、 若林総務課長、松本分庁総合窓口課長、見世溝口公民館長、 一橋企画課長、宮本地域おこし協力隊員、舟越 9 名	
	住民	4 名（別紙のとおり）	
概 要	・ 町長から町政提案説明・意見交換		
その他			

（参加者意見及び町側回答）

No	参加者意見	町側回答等
公金横領事案について	・民間企業の監査では、不正の発見だけでなく「不正を起こさせない仕組みづくり」を重視している。今回の事案は、売上げと入館者数、チケット枚数、入金額などを突合すれば、早期に発見できた可能性があったのでは。	・本件は犯罪行為に該当する可能性があるため、弁護士および警察に相談し、刑事告訴に向けた準備を進めている。 ・町が行うべきこととして、発生原因の検証、再発防止策の策定、組織体制の見直しを進めるとともに、弁護士、大学教授、公認会計士などで構成する第三者委員会による検証も想定している。 ・庁内プロジェクトチームを設置し、公金管理や組織体制を改めて点検・再構築を行う。
	・ホームページやテレビだけでは情報が届かない町民も多いとして、区長協議会などを通じた説明を行ってはどうか？	・ホームページへの掲載、ケーブルテレビでの説明、広報紙での特集を予定している。住民説明会や区長協議会への説明については現時点で予定していないものの、必要性を求める声が多ければ検討する
タウンミーティング	・町民音楽祭の参加者などにタウンミーティングを案内したところ、その存在自体を知らない人が多かった。若い世代や子育て世代は、新聞を購読せず、テレビもあまり見ない傾向があるため、従来の広報手段だけでは届きにくい。	・広報をしたからとどくものではないと理解している。内容や方法、手段など検討を重ねる。

No	参加者意見	町側回答等
音楽・文化芸術の振興	・町民音楽祭では出演団体が増え、音楽を通じた町民同士のつながりが広がっている。(演奏後の感想交換をきっかけに、LINE や Instagram でつながり、新たな活動へ発展している例もある。音楽は、子どもの自信や自己肯定感、地域の交流を育てる力がある。) ・鬼の館ホールについて、改修後に反響板がなくなり、演奏音が客席へ十分届きになくなった。ピアノ発表会や町民音楽祭の開催に支障があるため、反響板の再設置をお願いしたい。	町民音楽祭は、年々とてもよい音楽祭になってきている。 音楽について、そういった繋がりができているのもとてもよい事業となっている。 ・反響板の整備には多額の費用が見込まれるため、整備の必要性、利用頻度、具体的な活用計画、町民の要望などを踏まえて判断する必要がある。
	・町内の学校や施設などで使われなくなったピアノなどの楽器について、再活用してはどうか。また、美術館などの施設にアップライトピアノを設置し、小規模な発表会や演奏イベントを行ってはどうか。	施設の活性化策のひとつとして、今後検討する。
補助制度・財源確保	国、県、企業、財団などの補助・助成制度に関する情報が庁内で十分共有されず、申請機会を逃している可能性があるのでは。担当課だけで判断せず、庁内横断的に情報を共有し、町の施策に活用できる制度がないか検討する仕組みが必要だと考える。	職員数が限られ、国や県から新たな事務が次々に下りてくる中、職員の負担が大きい状況。そのうえで人材育成や庁内連携を進め、企画的な業務に取り組める体制をつくる必要があると考える。
子育て・教育支援	・中学校の制服がブレザーに変わり、シャツや洗い替えを含めて負担が増えた。また、高校進学時には、制服、教科書、タブレット、部活動用品などで、1人当たり 30 万円を超える負担が生じる場合がある。 制服、教材費などへの支援をしてほしい。 ・給食を食べられない児童生徒への支援についてもお願いしたい。	・給食費無償化に続き、教材費、修学旅行費、制服などについても検討課題と認識している。一方、継続的な財源確保が必要であり、ふるさと納税の増額などにも取り組みたい ・対応に向けて検討していきたい。
部活動の地域移	文化部や吹奏楽などの地域移行について、指導者、楽器、練習場所の確保が課題。地域人材バンクのような仕組みを整備し、町内の音楽家や経験者を指導者として活用してはどうか？	引き続き検討する。

No	参加者意見	町側回答等
学校の将来像	溝口地区を中心に児童生徒数が減少している中、学校を今後どのように維持・再編するのか	町全体の学校教育環境について検討するため、まず準備委員会を設け、その後、審議会で議論する予定。伯耆町としてどのような子どもを育てたいか、どのような教育環境を整えるべきかという観点から検討し、学校の統合も選択肢の一つとして扱う可能性がある。